

鳴門うず潮便り

～ココロもカラダもウズウズする時間～

第30回総会・学術集会が開催される

徳島県鳴門市の魅力を発信します☆

総会・学術集会の開催がいよいよ来月に迫ってまいりました。現在、実行委員会では、皆さまをお迎えするための準備を着々とすすめております。

本学術集会では、多様な視点からの発表や意見交換などを通じて、日々の実践に活かせる学びや新たな気づきを得ていただける機会となることを目指しております。また、施設や職種の垣根を越えた交流の場としても、有意義な時間となること願っております。

名前：鳴門 渦之助

渦潮の海で育った鯛の男の子。
ジョン・レノンに憧れてギターを始め
ましたがFコードに苦戦しています。



©Yuji Sasaki

第30回総会・学術集会

【開催日】

2026年6月27日(土)～
6月28日(日)

【会場】

鳴門教育大学
(徳島県鳴門市鳴門町高島)

【参加費】

会 員：5,000円
非会員：6,000円
学 生：2,000円

◇ 詳細は学会HPよりご覧いただけます。

【問い合わせ】

第30回日本医療保育学会学術集会企画委員事務局

MAIL : dai30kai@gmail.com

学術集会が開かれる鳴門教育大学ってどんなところ？

第30回総会・学術集会の開催地である鳴門教育大学を訪問してまいりました。大学の周囲には穏やかな海と緑豊かな山々が広がる、静かで落ち着いた環境に包まれています。日常の慌ただしさから少し離れたその空間は、自然と気持ちを整え、学びへと意識を向けさせてくれるような雰囲気印象的でした。

学内を実際に歩いてみると、整備の行き届いたキャンパスと、ゆったりとした時間の流れが感じられ、当日の総会・学術集会の様子が少しずつ具体的に思い描けるようになりました。特に会場となる“共通講義B棟”は設備面でも大変充実しており、発表や講演に集中できる環境が整っています。参加される皆さまにとっても、安心して学びや交流に臨んでいただけるのではないかと感じました。そして、学ランを身にまとい、斉藤和義モデルのミニギターを持って楽しそうにしている津川企画委員の姿がとても印象に残っています。その微笑ましい光景に触れこの地を訪れたことの価値を一層実感しました。

また、教育大学ならではの温かみのある雰囲気も随所に感じられ、訪れる人をやさしく迎え入れてくれるような印象を受けました。自然と人、そして学びが調和するこの場所で開催される本学術集会は、参加される方々にとって実り多い時間となることと思います。当日、多くの皆さまとこの地でお会いできることを心より楽しみにしております。

企画委員：佐々木祐二



学会前に（木村企画委員オススメ）鳴門を感じられるランチを

今回、学会の会場となる鳴門教育大学のすぐそばにある「鯛塩らぁ麺 堂の浦 鳴門本店」に行ってきました！このお店は今を煌めく目黒蓮さんも訪れた超注目店です！

住宅街にほっそり佇むそのお店は、ラーメン店とは思えないおしゃれな雰囲気女性客にも人気です。座席も20席程度と大きすぎず、入ってすぐ目の前に広がる鳴門の青い海と青い空が最高の癒しの空間を提供してくれます。誰しもが感動し、写真を撮って思い出の1ページとなること間違いなしです。らぁ麺のオススメはもちろん「鯛塩らぁ麺」。それに加えて、替え玉ならぬ替え飯を注文して最後に雑炊のように食べるもよし、鳴門鯛の刺身を一緒にその新鮮さに舌鼓を打つもよしとバラエティー豊かな楽しみ方ができるのも魅力のひとつです。「せっかく鳴門にきたのだからその土地ならではの物を楽しみたい。でも、学会の予定もあるし」と考えられる方にはピッタリのお店です。あいにく男2人で行ったその日は大雨（僕が雨男）。青空を見ることはできませんでしたが、次は青空の広がる気持ちの良い日に、妻とデートで訪れたいと思わせてくれました。

企画委員：津川靖弘



まるで世界一周!?名画に出会う大塚国際美術館の魅力

大塚国際美術館は、世界 26 カ国・190 以上の美術館が所蔵する名画を、陶板で原寸大に再現した世界でも類を見ない美術館です。広大な館内には見どころが多く、古代から近代までの西洋美術を一度に体感できる展示は圧巻で、まるで海外の美術館を巡っているかのような時間を過ごすことができます。

なお、徳島県出身のアーティストである米津玄師さんが、NHK 紅白歌合戦において本美術館から歌唱を披露したことで知られており、芸術とエンターテインメントが融合する魅力的なスポットとしても注目を集めています。

学術集会の前後に、こうした鳴門の多彩な魅力に触れてみてはいかがでしょうか。

企画委員：佐々木祐二



鳴門にある徳島ラーメンの有名店を紹介☆三

ふく利 鳴門店

ふく利鳴門店は、徳島ラーメンの中でも魚介と豚骨のバランスが絶妙で、ストレートの中細麺との相性も抜群です。食べ応えのあるチャーシューは、思わず背徳感を覚えてしまうほどの魅力があります。

鳴門市撫養町小桑島前組 128 TEL:088-685-8022

営業時間 11:00~21:00 (定休日:不定休)



支那そば 三八 黒崎店・齊田店

支那そば三八は、黄金色のスープが輝く“黄系徳島ラーメン”の代表格。鶏ガラと豚骨をベースに、野菜の甘みが溶け込んだ優しい味わいが特徴です。一口飲めば、そのまろやかさに思わず驚かされます。

【齊田店】鳴門市撫養町斎田字岩崎 56-1 TEL:088-685-1138

【黒崎店】鳴門市撫養町黒崎字松島 157 TEL:088-685-6138

営業時間 11:00~20:00 (定休日:火曜日)

中華そば いのたに 鳴門店

徳島ラーメンの超有名店である中華そばいのたに。濃褐色のスープが特徴の、いわゆる“茶系徳島ラーメン”。甘辛く煮込まれた豚バラ肉と生卵がトッピングされた一杯は、まるで徳島の食文化そのものを味わっているようです。

鳴門市撫養町南浜字東浜 34-24 TEL:088-685-6057

営業時間 10:30~15:30 (定休日:火曜日)



企画委員: 佐々木祐二

鳴門うず潮便りで紹介したお店や観光地



★ 1月号で紹介

- ①渦の道 ②観潮船 ③道の駅くるくるなると（紹介したお土産が買えます）

★ 3月号で紹介

- ④霊山寺 ⑤賀川豊彦記念館 ⑥さぬき手打ちうどん丸亀 ⑦かかし
⑨船本うどん ⑨サンチャゴバーガーズ ⑩堂の浦 鳴門本店

★ 5月号で紹介

- ⑪大塚国際美術館 ⑫ふく利 鳴門店 ⑬支那そば三八 黒崎店
⑭支那そば三八 齊田店 ⑮中華そばいのたに 鳴門店

企画委員の「最近の出来事」を紹介します

入江 慶太
(新見公立大学)

餃子、大好きです。あのうまみを大切に包み込む形が魅力的。子どもや家族をやさしく包み込む医療保育の姿にも通じるように感じます。鳴門教育大学で温かな交流の場を目指します。



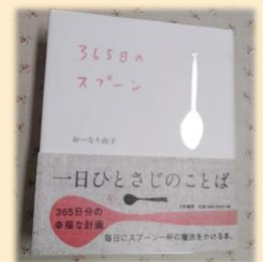
垂髪 あかり
(鳴門教育大学)

カニクロス (犬人同伴トレイルレース) 出場に向けて、日々、練習を重ねています。学術集会前ですが6月初旬に六甲山走ります！犬のペースで坂道ダッシュがきついです……。



木村 直子
(鳴門教育大学)

新年度の慌ただしさが落ち着き、久しぶりに『365日のスプーン』を開きました。去年の今日の自分に触れられるこの本は、私の小さなバロメーターです。



佐々木 祐二
(とくしま医療センター-東病院)

2020年に発売された“斉藤和義モデル”のギター(写真左)から、今年3月に発売された新モデル(写真右)に買い換えました。音の違いを実感しています。



橘高 真紀子
(環太平洋大学)

バラのツルにとまるメジロの姿を発見！(ピントが合わずです🙄上手に撮影できるようになりたいなあ。)小さな命の訪れに、季節の移ろいと心の安らぎを感じたひとときでした。



河村 麻美
(宇部中央病院)

長年の夢だった国営ひたち海浜公園に行きました。いつか自分の目で見たいと思っていた一面のネモフィラ畑、念願叶った憧れの景色はずっと見ていたくらい綺麗でした！



企画委員の「最近の出来事」を紹介します

<p>津川 靖弘 (とくしま医療センター西病院)</p>	<p>先日、サッカーJ1 リーグV・ファーレン長崎の試合を見に長崎県へ行きました。昨年オープンした世界基準のサッカー専用スタジアムにも感動。余暇の充実も専門職の努めです。</p>	
<p>古賀 聖子 (肥前精神医療センター)</p>	<p>転勤した先には芝生が広がる大きな中庭があります。そこに先日鯉のぼりがあがりました。皆さんと青空と風に揺らぐ鯉のぼりをゆっくり眺めて、心地よい時間を過ごせました。</p>	
<p>鈴木 智子 (四国大学)</p>	<p>鳴門にある レストランテ フィッシュボーン でランチ デザートまで美味しくいただきました。お勧めです。</p>	
<p>森本 寛訓 (川崎医療福祉大学)</p>	<p>デスクワークが多い私は慢性的な肩こりに悩んでいたのですが、このたびマッサージガンを購入しました。効果はてきめんで、いまでは手放せない一品となっています。</p>	
<p>谷川 弘治 (学会 理事長)</p>	<p>昨年の近隣大学での聴講を活かして「地に足をつけて生きる」をテーマに、毎月の水道検針で地域の方々との交流、朗読ボラの訓練後に絵本読み聞かせ、風景写真で地域の魅力発信。</p>	 <p>白毫寺 夜の藤</p>
<p>土屋 明子 (学会 副理事長)</p>	<p>東京の高輪ゲートウェイ駅で降りましたら、ピアノの音色が聞こえてきました。男性がアニメの曲を弾いていて、電車の音に負けないぐらい力強く、聞き入ってしまいました。</p>	

編集後記

私が日本医療保育学会に関わることになったきっかけは、2024年6月、約20年ぶりに垂髪先生と再会し、翌年5月にいただいた一通のメールでした。あのときのご連絡がなければ、今こうしてこの場に関わることもなかったように思います。

振り返れば、ひとつの出会いや一通の連絡、誰かの一言が、その後の人生を大きく動かすことがあります。今回の学術集会もまた、新たな出会いや気づきにつながる場になるはずです。

1月号から今号まで、鳴門市の魅力や企画委員それぞれの言葉をお届けしてまいりました。準備の過程そのものが、すでに多くの出会いと学びに満ちたしあわせな時間でした。この感動や思いは誌面だけでは伝えきれません。ぜひ現地で、学会30年の歩みとつながりを感じていただければ幸いです。

6月27日、皆さまと直接お目にかかれることを楽しみにしています。

企画委員：佐々木祐二

